

▼ ラベルは簡単にはがせます

# 株主の皆様へ

第157期

第2四半期事業のご報告

2021年4月1日～2021年9月30日



中期経営計画「Oneヤマト2023」に基づき、生活様式と流通構造の変化に対応するサプライチェーンの変革に向けて、お客様や社会のニーズに対し、総合的な価値提供に取り組んでいます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第157期第2四半期(2021年4月1日～2021年9月30日まで)における経済環境は、新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、足元ではワクチンの普及による海外経済の回復や製造業を中心とした景況感の改善がみられるものの、世界的なサプライチェーンの混乱や原材料高に加え、円安、原油高の影響、今後の感染状況など不透明な要因が多く、依然として本格的な景気回復は見通しづらい状況にあります。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、テレワークの推進、診療や教育分野におけるサービスのオンライン化など、消費行動や生活様式が変化し、全産業のEC化が加速しています。

このような状況下、ヤマトグループは経営理念に掲げる「豊かな社会の実現への貢献」を通じた持続的な企業価値の向上を実現するため、「Oneヤマト体制」のもと、これまでの「宅急便」中心の事業構造からお客様のビジネスの入口から出口まで幅広いお客様に価値提供できる企

業に向けて、中期経営計画「Oneヤマト2023」に基づき構造改革を推進しています。

これらの結果、当第2四半期(累計)の営業収益は、成長が加速するEC領域への対応により荷物の取扱数量が増加したことや、お客様の物流最適化に注力したことにより前年同期に比べ、増収となりました。また、営業利益については、経営資源の最適配置によるコストの適正化などを進めた結果、前年同期に比べ、増益となりました。

#### ■決算ハイライト

	前第2四半期(累計) (単位:億円)	当第2四半期(累計) (単位:億円)	増減 (単位:億円)	伸率
営業収益	8,060	8,654	↑ 594	7.4%
営業利益	269	316	↑ 47	17.7%
経常利益	279	369	↑ 89	32.2%
親会社株主に帰属する四半期純利益	141	146	↑ 4	3.1%

ヤマトグループは、グループ企業理念に基づき、法と社会的規範に則った事業活動を展開するとともに、コンプライアンス経営を推進しています。そして、企業価値の最大化を図ることを経営上の最重要課題の一つとして位置づけ、コーポレート・ガバナンスの取組みの中で、経営体制の強化に向けた施策を実践しています。

また、ヤマトグループは、中長期の経営のグランドデザインである経営構造改革プラン「YAMATO NEXT100」で掲げた「つなぐ、未来を届ける、グリーン物流」と、「共創による、フェアで、“誰一人取り残さない”社会の実現への貢献」という2つのビジョンのもと、サステナブル中期計画2023【環境・社会】を策定し、サステナブル経営の強化に取り組んでいます。

このうち、「環境」の分野では、設定した課題の解決に向けて、事業活動の環境負荷を減らす総量目標を定める

とともに、資材・車など、物流業界として革新的な技術の普及に貢献できる分野についても目標を定め、環境価値の創出に取り組んでいます。

また、「社会」の分野では、人材の多様性を尊重し社員が活躍できる職場環境を整備するとともに、社会の課題に向き合い共創による地域づくりを推進するなど、豊かな社会の実現に取り組んでいます。

これからも、ヤマトグループは、お客様や社会の多様化するニーズに対する総合的な価値提供を通じて持続的な企業価値の向上を推進してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後もヤマトグループに、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 社長執行役員

長尾 裕



# 「Oneヤマト」で 大会の物流ニーズにしっかり向き合い、 東京2020オリンピック・パラリンピックの 大会物流を成功に導きました。



## 史上最も過酷と評された 大会ロジスティクスを完遂

東京2020大会はこれまでの大会と異なり、東京都を中心に北海道、宮城、福島、首都圏（神奈川、千葉、埼玉、茨城）、静岡各県の広域エリアに、オリンピック42、パラリンピック21の会場がそれぞれ独立して点在し、さらにその多くが過密都市「東京」に集中するという特徴から、「史上最も過酷な大会ロジスティクス」と評され、高度な大会物流の設計と運用が求められました。

またコロナ禍の影響で、各国選手団の入出国スケジュールやレギュレーションの変更、無観客開催の決定、自らの感染対策の徹底など、直前まで大きな設計の見直しや追加を余儀なくさ

れる前例のない大会になりました。

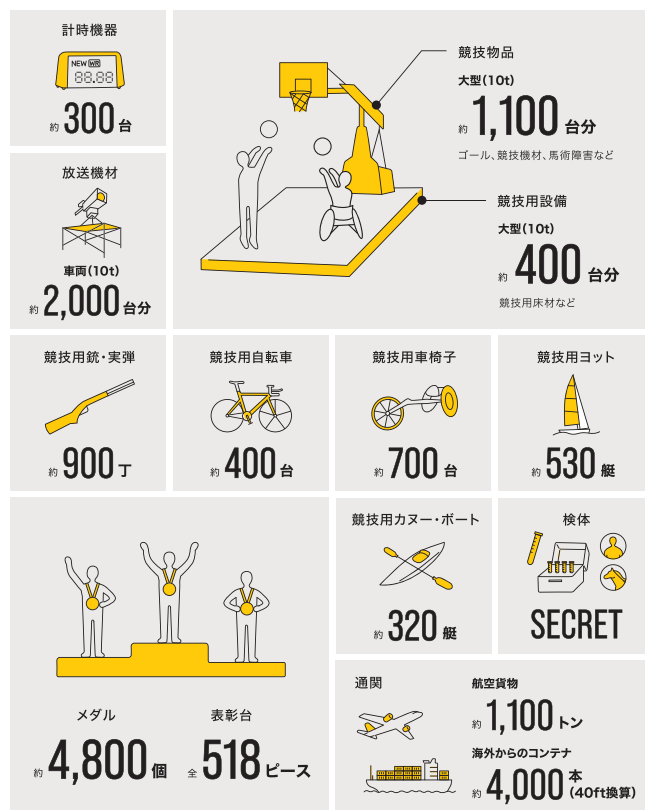
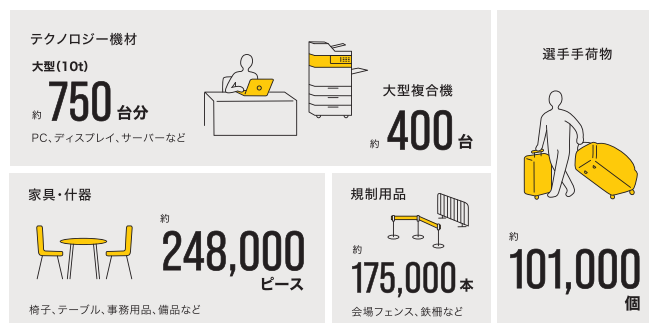
その状況下でヤマトホールディングスは、東京2020オフィシャル荷物輸送パートナーとして、東京2020組織委員会（組織委）と密接に連携し、「Oneヤマト」の経営資源の最大限の活用と、同業他社、協業会社との協業によって、安心、安全な大会物流を完遂し、宅急便に留まらない総合物流力と、物流のあらゆるニーズにしっかり向き合うヤマトの企業姿勢を国、東京都、各国の選手、大会関係者をはじめ、多くの大会ステークホルダーに示すことができました。

## 自社、パートナー企業の車両約11,000台、 約7,700名の総力を結集

大会物流では各競技会場に必要なテクノロジー機器、競技設備や機材をはじめ、海外から輸入された放送機材や競技用のヨットやカヌー、また選手が携行してきた競技用ライフルや自転車を含む多くの手荷物、選手村の什器備品、ドーピング検体、メダル、表彰台など、選手たちが活躍する舞台を整えるために必要なあらゆる物品を扱いました。

下図は私たちが運んだ物品の一覧ですが、ご協力をいただきワンチームで大会物流を担ってくださった多くのパートナー企業の皆様に改めて、深く感謝申し上げます。

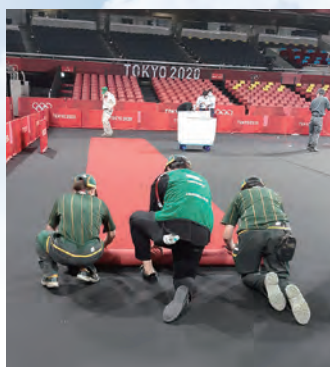
### ●東京2020大会のためにヤマトが運んだ品々をご紹介します。



※ヤマトホールディングス調べ



©2021 -IOC / -All rights reserved Tokyo 2020



©2021 -IOC / -All rights reserved Tokyo 2020

### 表彰台セッティングの様子が話題に

大会期間中、「クロネコヤマト」のユニフォームスタッフが「無駄のない動きで手際良く表彰台の設営をしている」様子を各局のニュースが報じたことをご記憶の方もいらっしゃると思います。ヤマト社員のできばきとした動きが注目を浴びました。

## さまざまな局面で活きた「Oneヤマト」の物流ノウハウ

大会物流をより精緻、かつ効率的に設計・運用するため、組織委内に点在していた会場別・関係者別の物流ニーズをすべて集約し、独自開発したシステムで物流設計をデジタルでトータルに可視化するとともに、データをTMS(トラフィックマネジメントシステム)に連携することで、スムーズな車両の最適配置を実現しました。このシステムは組織委、協力各社との情報連携に大きく寄与し、突発的な依頼や変更への対応を可能にしました。

また、検体輸送における温度管理やトレースの徹底、公式通

関ガイドの策定、宅急便で培った丁寧な選手手荷物の荷扱いや各会場諸室への什器の搬入・設置、またスピーディな表彰台のセッティングなど、日ごろ培ったノウハウで、選手をはじめとする各国選手団関係者、大会関係者から多くの感謝の言葉を頂戴しました。

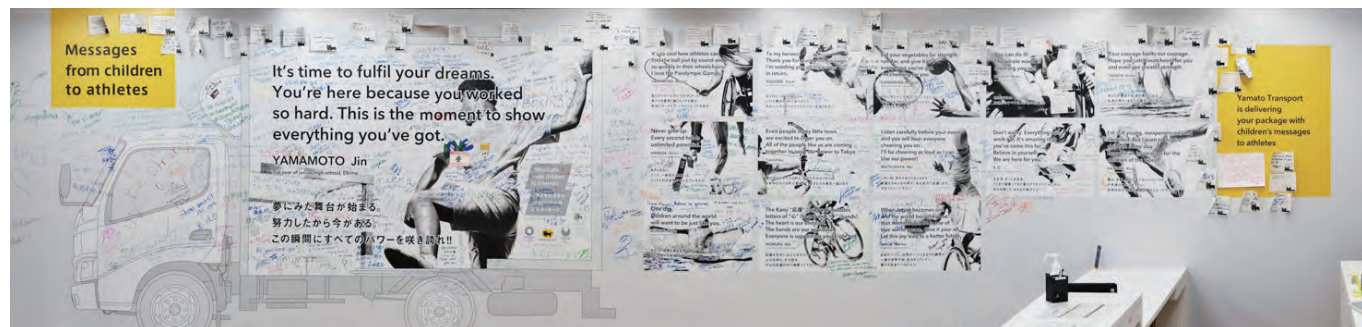
ヤマトはこれからも宅急便に留まることなく、お客様のニーズにしっかり向き合いながら、送る人、受け取る人の想いをつなぐ「次の運び方」を創ってまいります。

## 選手から日本の子どもたちへのメッセージで溢れた、選手村クーリエカウンター

ヤマトホールディングスは「2020年の東京を、応援であふれるTOKYOにしよう」を合言葉に、2019年6月14日～9月8日、「応援メッセージ募集キャンペーン」を展開しました。全国の小・中学生から約14万点ものメッセージが寄せられ、金・銀・銅賞に選ばれたメッセージは、英文にも翻訳され、710台のトラックなどに掲載されて東京の街を駆け巡りました。そして大会期間中、晴海選手村のクーリエ(宅急便)カウンターに掲出したグラフィックウォールに、多くの選手たちが日本の子どもたちへ返礼のメッセージを書き込んでくれるというサプライズがありました。



小・中学生のメッセージを710台のトラック、2,000台の集配台車に掲出



晴海選手村内のグラフィックウォールに書き込まれた選手のメッセージ

©2021 -IOC / -All rights reserved Tokyo 2020

ヤマトグループは、  
現在そして未来のお客様や地域の  
ニーズを満たし、社会の発展を支えていく  
企業へと進化するために、サステナブル経営の  
強化に取り組んでいます。

## 環境

## エネルギー・気候

主要目標(2024年3月期)

## 気候変動を緩和する

- ・温室効果ガス(GHG)排出量  
2020年度比10%削減\*1
- ・GHG排出原単位2020年度比10%削減\*2
- ・再生可能エネルギー由来電力30%使用



## 大気

主要目標(2024年3月期)

空をきれいにする  
(大気汚染防止)

- ・自動車NOx・PM排出量2020年度比  
25%削減\*3
- ・大気汚染物質排出が少ない自動車の導入



## 社会と企業のレジリエンス

主要目標(2024年3月期)

環境変化に負けない  
社会を支える

- ・パートナーと協働した  
グリーン物流
- ・社会と連携した環境レジリエンスの向上  
(実証や気候変動に適応する情報発信等)
- ・環境商品/サービスの提供



\*1: 国内連結および(株)スワンの自社排出(Scope1とScope2)。\*2: 範囲は\*1と同じ。tCO<sub>2</sub>e/営業収益1億円。  
\*3: 範囲はヤマト運輸(株)。

「2050年CO<sub>2</sub>自社排出実質ゼロ」に向けて。

ヤマトグループは、2020年1月、中長期の経営のグランドデザイン「YAMATO NEXT100」の中で「サステナビリティの取り組み～環境と社会を組み込んだ経営～」を掲げ、「2050年CO<sub>2</sub>自社排出実質ゼロ」を宣言しました。日本全国に多くの車両を保有するヤマトグループとして、以前よりハイブリッド自動車や電気自動車などの低炭素車両へのシフト、および市街地集配での電動アシスト自転車や台車などの使用を進めています。

また、EVや再生可能エネルギーの導入などを促進していくため、2021年10月、ヤマト運輸に「グリーンイノベーション開発部」を新設しました。同部の「エネルギーマネジメント課」では、当社グループのCO<sub>2</sub>削減に加え、省エネ技術の活用や再生可能エネルギー由来の電力の利用などを検討していきます。また、「モビリティ課」では、モビリティを起点に最新のテクノロジーの研究と実証に取り組み、実装を目指します。



三菱ふそうが開発した電気小型トラック「eCanter」



いすゞ自動車が開発したEVウォークスルートラック

## 社会

### 地域コミュニティ

主要目標(2024年3月期)

地域に根差した  
企業市民活動を行う、  
ビジネス創出のための  
仕組みをつくる



・企業市民活動および社会課題解決ビジネスの  
効果測定の仕組み構築完了



ネコサポステーションFujisawa SST店

子育て世代や高齢者など、多様な世代が  
安心・快適に暮らせる街づくり。

新たな「ネコサポステーションFujisawa SST店」がオープン。

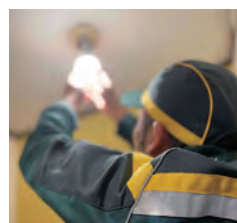
ヤマトグループが提供する新しい形のコミュニティ拠点「ネコサポステーション」は、「暮らしのために、できること、いろいろ」をコンセプトに、生活全般に対して困った際に頼れる相談窓口となることを目指しており、家事サポートサービスをはじめ、IoT電球「HelloLight」を活用した見守りサービス、生活全般に関わる相談窓口の設置、地域の皆様が交流できるイベント開催など総合的なサービスを提供しています。

2021年6月、神奈川県藤沢市のFujisawaサステナブル・スマートタウン内に新たなネコサポステーションがオープンし、既に開設済みの東京多摩市の3拠点、千葉県松戸市の2拠点と合わせて6拠点となりました。

ヤマトグループは今後も、地域の皆様、地域事業者・団体と一体となり、子育て世代や高齢者など、世代を問わず、安心・快適な生活を送ることができる街づくりを推進していきます。



複数店舗でのお買い上げ品を一つにまとめてお届け



らくらく設置でカンタン利用  
見守りサービスあんしんハローライトプラン



地域密着型イベント  
(メルカリ出品体験)



株主の皆様の声をお聞かせください

アンケート実施期間 >> 2022年1月31日まで

株主の皆様とのコミュニケーションをより充実させるため、「株主アンケート」を実施します。株主の皆様の率直なご意見・ご感想をぜひお聞かせください。今後の「株主の皆様向け冊子」制作等の参考にさせていただきます。

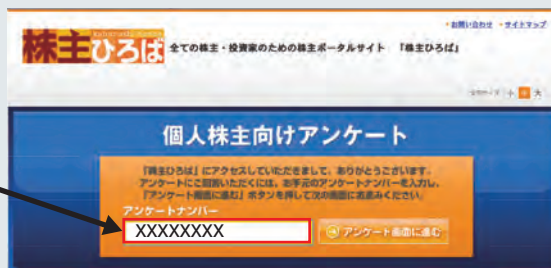
下記URLにアクセス、もしくはYahoo! JAPAN®やGoogle®などの検索エンジンから「株主ひろば」を検索していただき、アンケートナンバー入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。

<https://kabuhiro.jp> → アンケートナンバー [XXXXXXXX]

アンケートサイトでの  
ご回答操作方法等  
のお問合せ先

株式会社アイ・アール ジャパン  
株主ひろば事務局  
E-mail [kabuhiro@irjapan.co.jp](mailto:kabuhiro@irjapan.co.jp)

このアンケートサイトは株式会社アイ・アール ジャパン(IR支援会社)が運営するWebアンケートシステム「株主ひろば」を利用しています。



# 連結財務諸表(要旨)

## 四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期 連結累計期間 2020年4月1日～ 2020年9月30日	当第2四半期 連結累計期間 2021年4月1日～ 2021年9月30日
営業収益 ..... Point 1	806,067	865,470
営業原価	748,694	802,336
営業総利益	57,373	63,133
販売費及び一般管理費	30,457	31,443
営業利益 ..... Point 2	26,915	31,690
営業外収益	2,014	6,060
営業外費用	996	829
経常利益	27,933	36,921
特別利益	911	1,264
特別損失	1,869	15,892
税金等調整前四半期純利益	26,975	22,293
法人税等	12,704	7,572
四半期純利益	14,271	14,721
非支配株主に帰属する四半期純利益	84	89
親会社株主に帰属する四半期純利益 ..... Point 3	14,186	14,631

### ポイント解説

#### Point 1

営業収益は、成長が加速するEC領域への対応により荷物の取扱数量が増加したことや、お客様の物流最適化に注力した結果、前年同期に比べ594億2百万円増加し、8,654億70百万円となりました。

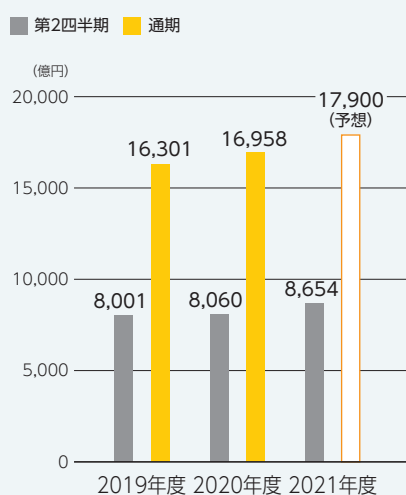
#### Point 2

営業利益は、取扱数量の増加に伴う輸送費用の増加や燃料単価の上昇などがあつたものの、経営資源の最適配置によるコストの適正化を進めた結果、前年同期に比べ47億74百万円増加し、316億90百万円となりました。

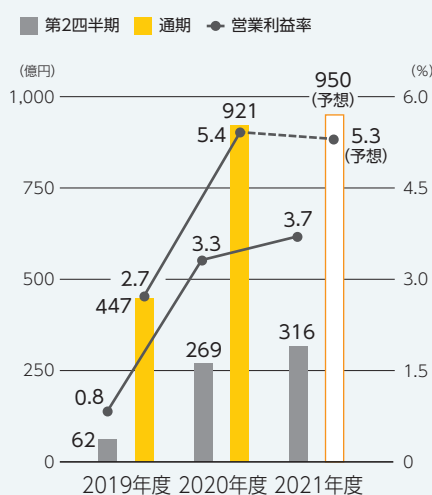
#### Point 3

親会社株主に帰属する四半期純利益は、退職給付制度改定費用149億99百万円を特別損失に計上しましたが、146億31百万円となり、前年同期に比べ4億45百万円の増益となりました。

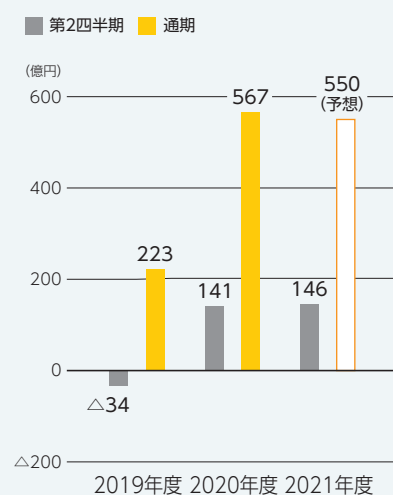
### 営業収益



### 営業利益 / 営業利益率



### 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益(損失)





## 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結 会計年度 2021年3月31日	当第2四半期 連結会計期間 2021年9月30日
<b>【資産の部】</b>		
流動資産	528,379	506,169
固定資産	561,612	590,371
有形固定資産	406,312	413,228
無形固定資産	29,555	37,389
投資その他の資産	125,744	139,752
<b>資産合計</b> ..... Point ①	<b>1,089,991</b>	<b>1,096,540</b>
<b>【負債の部】</b>		
流動負債	389,369	372,798
固定負債	116,334	133,519
<b>負債合計</b> ..... Point ②	<b>505,704</b>	<b>506,318</b>
<b>【純資産の部】</b>		
株主資本	556,070	556,212
その他の包括利益累計額	20,297	25,883
非支配株主持分	7,919	8,126
<b>純資産合計</b> ..... Point ③	<b>584,287</b>	<b>590,222</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>1,089,991</b>	<b>1,096,540</b>

### ポイント解説

#### Point ①

資産合計は、車両運搬具やソフトウェアなどの固定資産の増加、ならびに投資有価証券評価額の増加などにより、前連結会計年度に比べ65億49百万円増加し、1兆965億40百万円となりました。

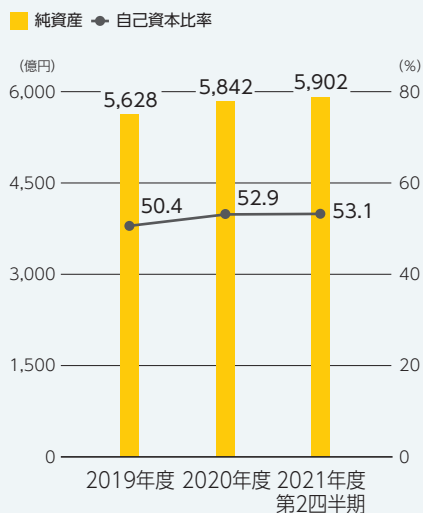
#### Point ②

負債合計は、退職金制度の改定などにより退職給付に係る負債が増加した一方で、未払法人税等が減少したことなどにより、前連結会計年度に比べ6億14百万円増加し、5,063億18百万円となりました。

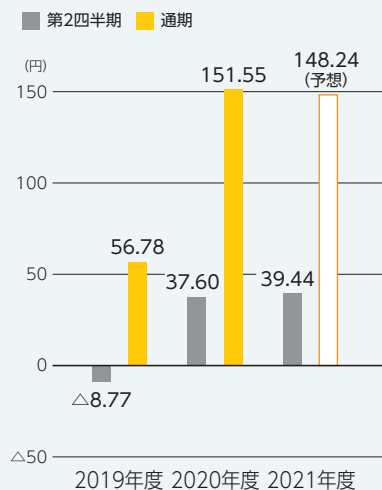
#### Point ③

純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益が146億31百万円となった一方で、剰余金の配当を実施した結果、前連結会計年度に比べ59億35百万円増加し、5,902億22百万円となりました。

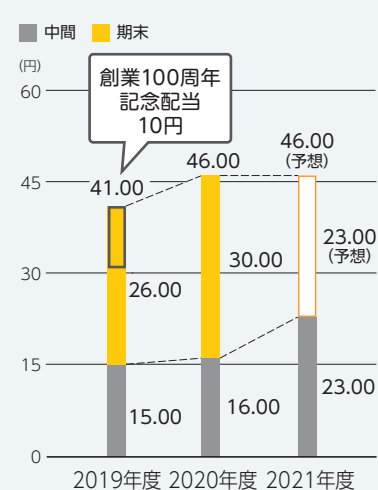
### 純資産／自己資本比率



### 1株当たり四半期(当期)純利益(損失)



### 1株当たり配当金



# 連結財務諸表(要旨)

## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期 連結累計期間 2020年4月1日～ 2020年9月30日	当第2四半期 連結累計期間 2021年4月1日～ 2021年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー <span style="color:red">Point 1</span>	29,992	3,750
投資活動によるキャッシュ・フロー <span style="color:red">Point 2</span>	71,552	△29,042
財務活動によるキャッシュ・フロー <span style="color:red">Point 3</span>	△74,318	1,915
現金及び現金同等物に係る換算差額	△293	442
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	26,932	△22,933
現金及び現金同等物の期首残高	196,662	241,284
現金及び現金同等物の四半期末残高	223,595	218,351

より詳細な連結財務諸表につきましては、  
ホームページ(<https://www.yamato-hd.co.jp/>)をご覧ください。

ヤマトホールディングス IR

検索

### ポイント解説

#### Point 1

営業活動によるキャッシュ・フローは、法人税等の支払額が支出増加になったことなどにより前年同期に比べ262億41百万円減少し、37億50百万円の収入となりました。

#### Point 2

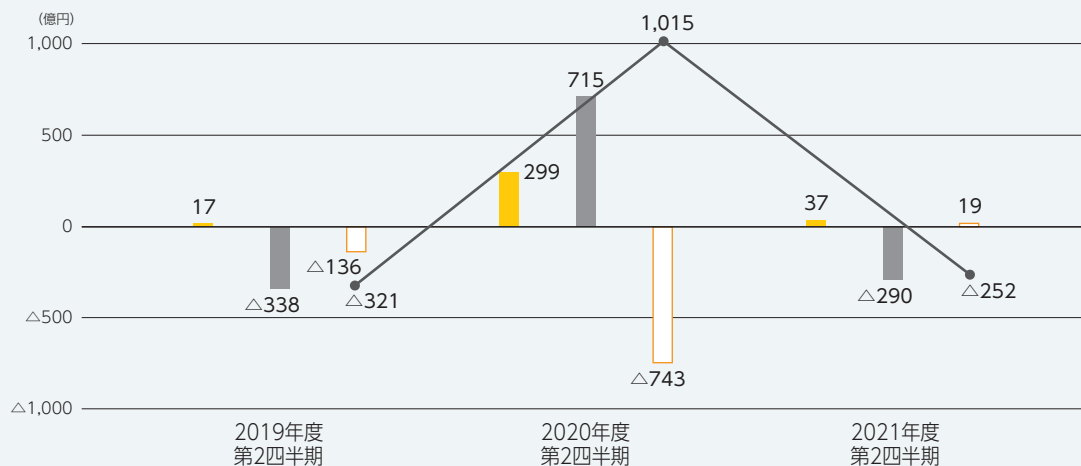
投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得などにより、前年同期に比べ1,005億95百万円減少し、290億42百万円の支出となりました。

#### Point 3

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の収支が増加したことなどにより前年同期に比べ762億34百万円増加し、19億15百万円の収入となりました。

### キャッシュ・フロー

■ 営業活動によるキャッシュ・フロー □ 財務活動によるキャッシュ・フロー  
■ 投資活動によるキャッシュ・フロー ● フリー・キャッシュ・フロー



# 株式の状況 / 会社概要 (2021年9月30日現在)

## 株式の状況

発行可能株式総数	1,787,541,000株
発行済株式の総数	388,575,592株
株主数	47,200名

## 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	60,125	16.18
ヤマトグループ社員持株会	23,895	6.43
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	21,848	5.88
明治安田生命保険相互会社	14,814	3.99
日本生命保険相互会社	14,770	3.98
株式会社みずほ銀行	10,247	2.76
ヤマトグループ取引先持株会	8,257	2.22
トヨタ自動車株式会社	5,748	1.55
株式会社日本カストディ銀行(信託口7)	5,147	1.39
損害保険ジャパン株式会社	5,133	1.38

※自己株式は上記の大株主一覧より除外しています。  
 ※持株比率は自己株式数を控除して算出しています。

## 会社概要

商号	ヤマトホールディングス株式会社
本店所在地	〒104-8125 東京都中央区銀座二丁目16番10号 TEL 03-3541-4141(代表)
創業	1919(大正8)年11月29日
設立	1929(昭和4)年4月9日
資本金	127,234,791,077円

## 株主の皆様向け冊子に関するお問い合わせ

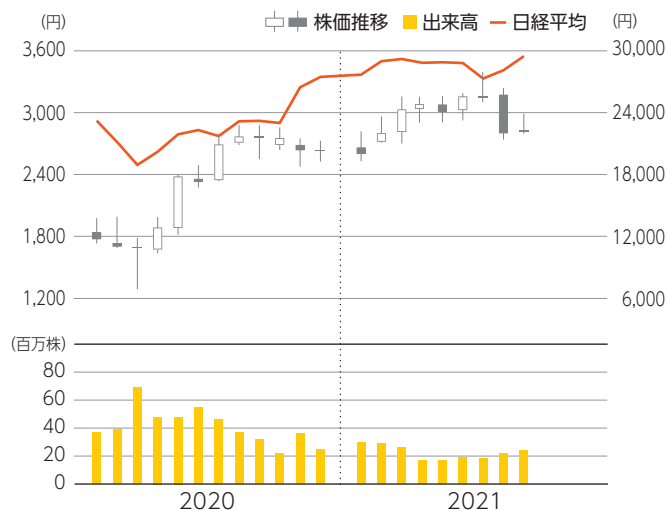
ヤマトホールディングス株式会社  
IR戦略立案推進機能

### ヤマトホールディングスホームページのご案内

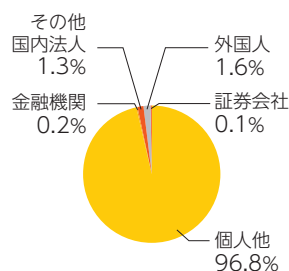
ヤマトグループに関するさまざまな情報がご覧いただけます。

<https://www.yamato-hd.co.jp/>

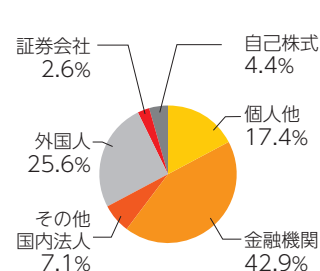
## 株価・売買高の推移(東京証券取引所)



## 株主数比率



## 株式数比率



## 株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	6月に開催
期末配当基準日	3月31日
中間配当基準日	中間配当を行う場合には、9月30日
株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社 〒100-8241 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
事務取扱所 (手続お申出先)	みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 TEL 0120-288-324
公告方法	電子公告 ( <a href="http://www.yamato-hd.co.jp">http://www.yamato-hd.co.jp</a> ) ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
銘柄コード	9064

## ヤマトホールディングス株式会社

〒104-8125 東京都中央区銀座二丁目16番10号

TEL 03-3541-4141(代表)

<https://www.yamato-hd.co.jp/>



**UD FONT**  
by MORISAWA

ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた  
見やすいデザインの文字を採用しています。